

平成22年度
定期総会議案

と き 平成22年7月15日（木）13時15分

ところ 電鉄富山駅ビル「エスタ」11階会議室

高山本線強化促進同盟会

総会次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

議案第1号 平成21年度事業報告について

議案第2号 平成21年度収支決算について

議案第3号 平成22年度事業計画（案）について

議案第4号 平成22年度収支予算（案）について

報告第1号 役員の改選について

4 決 議

5 閉 会

平成21年度事業報告

自 平成21年4月 1日

至 平成22年3月31日

年 月 日	事 業 内 容
21. 4. 27	幹事会を開催し、定期総会の日程、提出議案、今年度事業内容等を協議（富山市）
21. 5. 26	<p>定期総会を開催し、平成20年度事業報告及び同収支決算並びに平成21年度事業計画（案）及び同収支予算（案）を審議決定（富山市）</p> <p>[決議]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 旅客輸送サービスの強化改善 2 全線電化の早期完成及び複線化の促進 3 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進 <p>定期総会に引き続き講演会を開催し、ひたちなか海浜鉄道株式会社 代表取締役社長 吉田 千秋 氏を講師に招き「鉄道の活性化と利用促進」をテーマに講演を行った。</p>
21. 9. 8	高山本線全線開通75周年を記念し、懸賞クイズを実施（応募期間 H21. 9. 8～H21. 10. 25）
21. 10. 29	全国鉄道整備促進協議会事務担当者研修会に出席（宮津市）
22. 1. 15	<p>東海旅客鉄道株式会社に対し、要望実施（名古屋市）</p> <p>[要望事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 旅客輸送サービスの強化改善 2 全線電化の早期完成及び複線化の促進 3 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進
22. 2. 19	<p>西日本旅客鉄道株式会社に対し、要望実施（金沢市）</p> <p>[要望事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 旅客輸送サービスの強化改善 2 全線電化の早期完成及び複線化の促進 3 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進

平成 2 1 年度収支決算

自 平成 2 1 年 4 月 1 日
至 平成 2 2 年 3 月 3 1 日

収 入 の 部

(単位:円)

科 目	予 算 額	収 入 済 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 負担金	426,000	426,000	0	20 団体
2 繰越金	986,106	986,106	0	前年度繰越金
3 雑 入	894	276	△618	預金利息
計	1,413,000	1,412,382	△618	

支 出 の 部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 会議費	300,000	175,740	△ 124,260	総会開催経費
2 事業費	983,000	732,974	△ 250,026	総会講演会開催経費 開通 75 周年記念事業
3 事務費	10,000	9,816	△ 184	振込手数料
4 負担金	15,000	15,000	0	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	80 周年記念事業積立
6 予備費	5,000	0	△ 5,000	
計	1,413,000	1,033,530	△ 379,470	

収入合計 1,412,382円

支出合計 1,033,530円

差引残高 378,852円 (平成 22 年度へ繰越)

80 周年記念事業の部

(単位:円)

前年度までの積立額 (a)	21 年度積立額 (b)	21 年度末残高 (a)+(b)
0	100,000	100,000

監査報告書

高山本線強化促進同盟会会則第7条第5項の規定により、平成21年度決算について、監査を実施し、証拠書類、帳簿などを精査したところ、適正に執行されていたことを認めます。

平成22年6月25日

監事 下呂商工会会長 中川 正之

監事 富山市八尾山田商工会会長 川原 敏彦

高山本線強化促進同盟会

会長 富山県知事 石井 隆一 殿

(原本は事務局にて保管)

平成22年度事業計画（案）

本同盟会は、高山本線が地域における重要な鉄道として大きな役割を果たしていることから、東海旅客鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社に対し、複線電化の早期完成及びスピードアップ、サービス改善等の推進を要望する。

事業計画

- 1 旅客輸送サービスの強化改善、複線電化の促進、軌道等の強化と防災施設の整備促進について、東海旅客鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社に対し、その実現を強く働きかける。
 - ・ 特急「ワイドビューひだ」号の増発
 - ・ 部分線増、一線スルー化、分岐器の改良等によるスピードアップ
 - ・ 朝夕の通勤・通学時間帯及び昼間時間帯における普通列車の充実
 - ・ 季節的臨時列車の増発、企画切符の導入など観光客増加策の推進
 - ・ 北陸新幹線開業を視野に入れた強化方策の推進 など
- 2 情報・資料の収集に努めるとともに、高山本線の果たす役割、重要性について広報活動を推進する。
- 3 全国鉄道整備促進協議会等関係諸団体と連携し、本会事業の促進を図る。
- 4 その他、運動の目的を達成するため、会長が必要と認める事業を実施する。

平成 2 2 年度収支予算 (案)

自 平成 2 2 年 4 月 1 日

至 平成 2 3 年 3 月 3 1 日

収入の部

(単位 : 円)

科 目	平成 2 2 年度 予 算 額	平成 2 1 年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 負担金	426,000	426,000	0	20 団体
2 繰越金	378,852	986,106	△ 607,254	前年度繰越金
3 雑 入	148	894	△ 746	預金利息
計	805,000	1,413,000	△ 608,000	

支出の部

(単位 : 円)

科 目	平成 2 2 年度 予 算 額	平成 2 1 年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 会議費	300,000	300,000	0	総会、幹事会経費等
2 事業費	375,000	983,000	△ 608,000	広報・啓発事業費、 事務担当者研修会経費等 (平成 21 年度は、開通 75 周年記念事業を実施)
3 事務費	10,000	10,000	0	振込手数料
4 負担金	15,000	15,000	0	全国鉄道整備促進協議会 負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	80 周年記念事業積立金
6 予備費	5,000	5,000	0	
計	805,000	1,413,000	△ 608,000	

80 周年記念事業の部

(単位 : 円)

前年度までの積立額 (a)	22 年度積立額 (b)	22 年度末残高 (a)+(b)
100,000	100,000	200,000

平成22年度負担金内訳表

(単位：円)

団体名	負担金額	団体名	負担金額
愛知県	32,000	白川町	7,000
岐阜県	64,000	飛騨市	32,000
岐阜市	32,000	岐阜商工会議所	7,000
高山市	32,000	高山商工会議所	7,000
美濃加茂市	18,000	神岡商工会議所	7,000
各務原市	18,000	下呂温泉観光協会	7,000
下呂市	32,000	富山県	64,000
坂祝町	7,000	富山市	32,000
川辺町	7,000	高岡市	7,000
七宗町	7,000	富山商工会議所	7,000
		合計	426,000

報告第1号

役員の改選について

会長の改選について、高山本線強化促進同盟会会則第6条の規定により、愛知、岐阜、富山三県で協議し、平成22年度及び平成23年度の会長は、岐阜県知事となりましたので報告します。

平成22年7月15日

決 議 (案)

高山本線は、これまで70年あまり、我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側とを結ぶ交通の大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより中部圏全体の交流の活発化を図り、経済・文化の発展、向上に寄与してきた基幹鉄道である。

これからも高山本線の存在は、太平洋側から日本海側に至る個性豊かな日本の中央部における広域交流圏を形成するうえで必要不可欠であり、沿線地域の産業、文化、生活等の諸機能の整備とあいまって、中部圏の活性化に大きく貢献するものと確信する。

さらに、北陸新幹線も平成26年度末までには長野ー金沢間が開業する予定であり、高山本線が北陸新幹線に接続されると、首都圏から北陸経由での中部圏への移動ルートが強化されることから、高山本線の重要性はますます高まるものと確信する。

このような中、東海旅客鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社におかれは、今後、さらに高山本線に関する積極的経営施策を展開し、広域的サービスはもとより、地域密着型サービスの提供に努められるよう、強く要望するものである。

また、これまでも高山本線のスピードアップ、ダイヤの充実等による利便性の向上、鉄道施設の改良、点検、社員教育等による安全対策に努められているところであるが、鉄道輸送の最重要課題である「安全性の確保」のため、より一層の安全対策、安全運行に努められるとともに、下記事項の実現について併せて要望するものである。

記

- 1 旅客輸送サービスの強化改善
- 2 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進
- 3 電化及び複線化の促進

以上決議する

平成22年7月15日

高山本線強化促進同盟会